授業科目名・形態	地域社会での健康支援体制と実際　講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	川村泰子	実務経験の有無	有	開講期	４年前期
科目ナンバリング	N7-4009pht				

【授業の主題】

健康は社会環境の変化の影響を受け、その中に人々の生活があります。地域の健康課題を解決するために社会構造や社会情勢の変化を理解し、多職種連携の考え方や実態と課題について学修します。

【到達目標】

１．公衆衛生看護活動における地域の支援体制づいて理解できる。
２．地域ケアシステムについて理解できる。

【授業計画・内容】

第１回　暮らしの基盤としての地域
第２回　地域組織の育成・支援
第３回　（演習）地域組織活動・グループ支援（1）：地域組織活動のリサーチ
第４回　（演習）地域組織活動・グループ支援（2）：地域組織活動のリサーチ結果の発表
第５回　地域包括ケアシステムと地域保健活動
第６回　ケアシステムと社会資源
第７回　多職種連携の意義と方法
第８回　システムの構築と地域ケア会議

【授業実施方法】

講義、演習。授業終了後にはリフレクションペーパーを記載する。

【事前・事後学習】

・リフレクションペーパーを記載するときには授業内容を振り返り復習として取り組むこと。
・事前に教科書（授業に該当する部分）はよく読んで出席すること。
・予習、復習はいずれも毎回２時間以上行うこと。
・授業で配布された資料や紹介された参考図書はよく読むことを勧める。授業で配布する資料と教科書はよく読む。

【主な関連する科目】

公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動展開論、公衆衛生看護活動論

【教科書等】

保健学講座「公衆衛生看護支援技術」メヂカルフレンド社

【参考文献】

随時、資料の配布や参考図書を紹介する

【成績評価方法】

１．2/3 以上の出席者につき授業の参加状況、リフレクションペーパー、演習、定期試験から総合的に評価する。
２．リフレクションペーパーをすべての授業終了後に提出することで５点を加算する。
３．演習内容・提出課題（10%），定期試験（85%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師経験等を活かし公衆衛生看護活動の実際を伝えていきます。

【学生へのメッセージ】

ニュース等に関心を持ち、社会で起きていることを感じ考えることが大切です。看護の対象として地域に暮らす人々を捉え、看護職として何ができるのかそのために自分はどうあらねばならないのか考えましょう。